

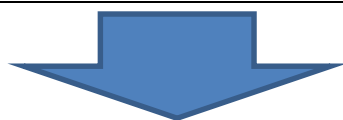
令和3年度 授業改善推進プラン

台東区立台東育英小学校

○ 第3学年

1 児童の状況及び実態

- ・知識・技能（主に漢字）についての定着はよい。個人差はあるが、普段の学習なども、積極的に取り組む姿が見られる。叙述から読み取ったことを、考えたり、まとめたりすることは、好きな児童が多い。しかし、自分で考えたことを、発表したり、文章に表したりすることには、苦手意識をもつ児童が多い。（国語）
- ・算数科は、既習事項の定着（主にかけ算九九）に、個人差はあるが、課題が見られる。ドリルや、タブレットを使っての学習は、積極的に取り組む児童が多い。ノートに、解決の方法を自力でまとめることは苦手意識をもつ児童が多い。（算数）



2 指導についての課題

【知識及び技能】

- ・自分が表したいことを、正しく書き、伝える力が習得する時間の確保が不十分である。（国語）
- ・かけ算九九の定着が不十分であることへの対応。（算数）

【思考力、判断力、表現力等】

- ・作文などで自分が考えたことや、表現したいことを根拠をもとに相手に伝える活動を繰り返し行っていく必要がある。（国語）
- ・めあてを意識して、解法を自分の言葉でノートに書いたり、発表したりすることに苦手意識をもつ児童への手立てが不十分である。（算数）

【学びに向かう力、人間性等】

- ・課題に対して、取り組めない児童もいる。児童が興味をもって取り組む課題が不足している。



3 授業改善に向けての具体的な方策

【知識・技能】

- ・短文の視写など、計画的に取り入れ、書くことへの抵抗を無くすようにする。（国語）
- ・かけ算九九の習熟プリントを、時間を決めて繰り返し取り組ませ、少人数担当教諭と連携を取りながら、定着を図る。（算数）

【思考・判断・表現】

- ・自分の意見に対して、「なぜなら～」と、理由をもたせて表現させることを意識付ける。（国語）
- ・解法のヒントになる言葉など、具体的に提示しながら、穴埋めで取り組ませるなど、全文を書かせるのではなく、徐々に文量を増やし、自信をもたせるようにする。（算数）

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ノートや発表など、よい例を意図的に紹介し称賛することで、認め合う雰囲気づくりを構築する。間違えたことに目が行きがちだが、児童ができたことを認め、励ますようにする。間違えたところは、理由に気付かせ、繰り返さないためにどうするかを考えさせるようにする。

